

# 彦根市立城陽幼稚園

## ☆ 城陽幼稚園の特色

- 本園は琵琶湖を通り抜けてくる風を受けて、荒神山がパノラマに広がる彦根の中南部に位置しています。周辺は新旧の住宅地が混在しながらも広々としていて、田畑や川に囲まれ、自然に恵まれたところにあります。平成3年創立という市内公立幼稚園の中では最も歴史の浅い園ですが、園舎や園庭のあちこちには、幼稚園らしさを大切にいろいろな工夫がされています。このような園および地域のよさを生かしながら、「よく遊ぶ子」「よく考える子」「よく動く（働く）子」の育成のために、豊かな遊びや体験づくりに努めています。

「ひと」や「もの」「活動」に

心を通わせて取り組む

「にんじん、ください」

「はい、百円です」



「やったあ、ぼくのこま凄いで！」

「よ～し、ぼくも頑張る！！」



心も体も働かせて

生き生きと取り組む

環境にとっぴりと浸って

夢中になって取り組む

「こいのぼり、できた！」

「風を食べて元気に泳ぐよ」



# 園内研究

## (1) 研究主題

遊んで・遊んで・遊び込む子どもの姿を求めて

～「人」「もの」「場」とのかかわりを通して～

## (2) 主題設定の理由

日々、幼児、遊びを通して人やものとかかわり、また自然や社会事象など、周りの環境の中でさまざまな直接体験・感動体験を重ねることにより「生きる力」を育てています。変化の激しいこれからの社会を生きる子ども達にとって、自ら学び、自ら考えながら「遊び」に充分没頭できることは、たくましく生きる力の基礎を培うためにとても重要なことです。

本園では、子ども達が遊びをつくり出し、没頭したり、継続的に取り組んだりできるように、『遊んで、遊んで、遊び込む子ども』の姿につながる豊かな保育のあり方について研究を進めたいと考えています。昨年度は、環境にどっぷりと浸り、夢中になって遊びこむ子どもの姿を求め、さまざまな直接体験・感動体験・生活体験などのあり方について、人やもの、場という視点から、子どもたちの成長・発達の様子を見直してきました。

この研究を土台に、園内の環境はもちろんのこと、近隣の小学校や保育園とのつながりも大切に、年齢や発達にふさわしい体験を十分に積み重ねることで、幼・小の滑らかな接続につながるようにしたいと考えています。

## (3) 研究の内容

- ・ 幼児一人一人を理解し、その子のよさを高めていく指導の充実
- ・ 園を取り巻く自然や地域環境を生かした保育内容の見直しや工夫
- ・ 発達段階に応じたふさわしい生活や遊び・学びのあり方の追求
- ・ 小学校教育への滑らかな接続につながるための教師間の体感的相互理解と交流活動の充実
- ・ 人・もの・場という視点を明確にした教育内容の探求と小学校との連携の推進

# 1 幼稚園経営管理全体計画(構想)

## 1 幼稚園経営管理全体計画

- 教育基本法 ○幼稚園教育要領
- 県学校教育の指針 ○県幼児教育推進の指針
- 市学校・園の教育指針・方針

### 学校・園教育推進の基本

- 基礎基本の徹底を図り個性を伸ばす教育の充実
- 自ら学び、考える力をはぐくむ教育の充実
- 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実
- 地域に開かれた信頼される特色ある園づくりの推進
- 心身一如の教育
- 主体的な学習(自ら遊びに浸り込む力)の育成

- 幼稚園における幼児教育の充実
  - ・基本的な生活習慣の形成
  - ・豊かな心と健やかな体の育成
  - ・人と関わる力の育成
- 育ちをつなぐ幼・保・小、家庭、地域の連携
  - ・幼稚園・保育所と小学校との連携
  - ・家庭との連携
  - ・地域社会における子育て支援の充実

### 教育目標

一人一人の発達の特性に  
 応じ、遊びを通して人間形成の  
 基礎を培い、心豊かでたくましく  
 生きる力を持つ子を育てる

### めざす子ども像

よく遊ぶ子

よく考える子

よく動く子  
 (働く)

「ひと」「もの」に親しみをもって関わる

「ひと」や「もの」「活動」に心を  
 通わせて取り組む

心も体も働かせて生  
 き生きと取り組む

環境にとっぷりと浸って、  
 夢中になって取り組む

### 一園一約束「履き物を大切にしよう」

3歳	自己表現	自分からお気に入りの遊びを見つ け、好奇心を持って遊びを楽しむ	友達に進んで関わり、自分の思い を伝え合って遊びを広げ、楽しむ	園生活のリズムやルールに適応し ながら、お気に入りの遊びを通し できることを増やしていく
4歳	自己発揮	まわりの環境に気づき、それを取 り入れたり試したりして遊びを広 げる	友達と一緒に試したり、工夫した りしながら遊びを楽しんで続け る	園生活に必要な習慣や態度を身 につけ、安定感を持って遊びを 楽しんでいく
5歳	自己実現	めざす遊びや活動の姿をイメー ジしてそれに向かって楽しんでや りぬく	友達と一緒に目的を持って最後ま でやり直し、達成した喜びを味わ う	友達のよさや違いを認め合いなが ら、力を合わせて自分達で遊び を進め、やり遂げる喜びを味わ う

### 教育推進の基本

心と体を鍛え、心豊か  
 でたくましく生きる子  
 もめざす

- 直接体験の充実を通して、自然、ひと  
 もの等に興味や関心を育てる。
- 全身を動かし取り組む活動や、五感  
 を通して吸収・体得する場を重視しな  
 がら、いろいろな食への関心を高める。
- 友達への思いを育て、いろいろな人  
 と親しみを持って関わる温かい心を育  
 む。
- さまざまな活動に進んで取り組み、  
 最後までやり抜く喜びを体感させる。
- 体験を通して道徳性の芽生えを培  
 う。

自己充実感をもたらす創  
 意ある教育課程の編成  
 の工夫・改善をめざす

- 子ども一人一人の興味・関心・意欲  
 の多面的・共感的把握を大切に、年齢  
 や発達にふさわしい、環境や指導・援  
 助のあり方を求めていく。
- 基本的な生活習慣の習得と態度の  
 育成を大切に、その定着を図る。
- 学びの基盤となる経験や活動の場  
 づくりと、継続や積み重ねを大切にす  
 る。
- いろいろな場を通して聴く力を養う。

家庭・地域(保・小)との  
 連携を深め、開かれた幼  
 稚園をめざす

- 地域を生かし、家庭、地域の人々  
 との交流を積極的に推し進めるととも  
 に、安全で安心な幼稚園づくりを進  
 むる。
- 子育て支援の積極的な推進、幼児  
 教育の重要性の啓発など、家庭・地  
 域の教育力を生かしながら、一体とな  
 った取り組みを推進する。
- 小学校への滑らかな接続、移行に向  
 けての積極的な取り組みを、意図的・  
 計画的に推し進める。

### 教職員としての使命の自覚

—— 幼児とともに歩み、育つ、保育者(教師)と、「明日も来なくなる幼稚園」を全職員でめざす ——

### 【教職員の専門性や指導力の向上を図る研修】【教職員の人間性や資質を高める研修】【子どもに夢を語り、よきモデルとなる自己啓発】

- 幼児のありのままの姿を見つめて、深く温かい的確な幼児理解をもとに指導・援助にあたる。
- 幼児の意欲や関心、創造性に寄り添いながら、ともに保育をつくり出していくことに努める。
- 保育内容やねらいを具体的に描き、そのための環境構成や教師の役割を明確にして保育にあたる。

